

議会報告会 報告書

彦根市議会議員 安澤 勝 様

福祉病院教育常任委員会
赤井 康彦

開催日時	令和2年10月30日（金） 13時30分～14時50分
開催場所	中老人福祉センター 大集会室
出席議員	議 員 氏 名 赤井康彦 辻真理子 小川吉則 堀口達也 角井英明 馬場和子 伊藤容子 野村博雄
参加者数	福祉病院教育常任委員会委員 8人 事務局 1人 彦根市老人クラブ連合会 9人 事務局 1人 彦根市介護福祉課 2人 合計 21人
内 容 (内容及び時間配分)	1 開会 2 挨拶 ①彦根市議会福祉病院教育常任委員長 赤井康彦 ②彦根市老人クラブ連合会 会長 山中清次郎 3 配布資料説明 ① 彦根市老人クラブ連合会への補助金予算額推移 単位老人クラブ活動補助金の予算額推移 老人クラブに関するアンケート調査 結果 ② 彦根市老人クラブ連合会事業計画 年間行事予定表 組織図 老人クラブ沿革 4 意見交換 5 閉会挨拶 彦根市老人クラブ連合会 顧問 北沢浩治
主な質疑応答・意見（話し合いの内容）	Q単位老人クラブへの補助金の内容及び問題は？ A 30人以上は36,600円だが120人のクラブでも同額であり一人当たりの単価に不公平感あり。書類提出に手間がかかる。 Q補助金の使いみちでの問題はあるのか？ A飲食への使用はダメであり、誕生会をするにしても景品なら良いのだが金券はダメということで不便を感じている。補助金の申請が面倒なので貰わないという選択をしているクラブもある。 Qコロナでの影響は？ A単位老人クラブの例だがほとんどの事業が止まってしまった。その中でも、コロナの知識をみなさんに持ってもらおうと広報活動はしている。9月からはグラウンドゴルフが再開。

Qサークル活動は活発でありその方々の意見を吸い上げては？
A趣味だけの集まりということや年代も若く難しい。老人クラブの信条は友愛・奉仕・健康である。
Q指定管理者として各種相談は？
A所長が対応している。

＜老ク連の会員数が減少していることに対して等の主な意見＞
福祉バスの復活を望む声が多い
単位老人クラブは町内での活動が主なので行きやすいが老ク連の事業は遠くて参加したくても行くことができないという交通の問題がある。
老ク連の事業に魅力を持ち単身で入会している方もいる 特に女性の単身参加が多く活躍されている。
単位老人クラブ同士の情報共有のまとめ役に老ク連がなればよいのではないか。
賛助会員の制度を創ってみてはどうか。
現在はサロンでも社会福祉協議会が主体となっているが元々は社協の中に老ク連事務局があった。一体となっていくべきだ。
今後は待つばかりではなく我々老ク連側から出かけてまいりつながりの輪を広げていきたい。
他市では老ク連に入っているとメリットがあるようにしている市も存在する。

※ 彦根市老人クラブ連合会は、今回の意見交換を踏まえた上で11月2日に市長に要望書を提出されました。